

全国社会人サッカー選手権大会

in青森

大戸 魁（中国/岡山県）



大会期間

: 2025/10/11(土)～2025/10/15(水)

会場

- ・八戸市 プライマリーズスタジアム
八戸東運動公園陸上競技場
八戸市南郷陸上競技場
- ・十和田市 十和田市若葉球技場
十和田市高森山多目的グラウンド
- ・五戸市 ひばり野公園陸上競技場
- ・南部町 ふるさと運動公園陸上競技場



2025大会テーマ

- ・大会を成功させる
- ・サッカーの「4局面」と「球際」を理解した
レフェリング

<期待したい効果・結果>

- ・サッカーの4局面を理解し、素早い攻守の切り替えに対応できる
- ・争点に適切なポジションで対応、球際をよく見極め、ゲームコントロールを行う
- ・試合運営、選手、ベンチ管理を審判チームで協力して行う

担当試合

1回戦 VONDS市原FC vs 中京大学FC

R：岩本駿士 AR1：大戸魁 AR2：遠藤尊流 4th：山田一騎

アセッサー：牛尾眞一郎氏

2回戦 FC BASARA HYOGO vs FC.ISE-SHIMA

R：大戸魁 AR1：渡邊恵太 AR2：坂田純平 4th：岩本駿氏

アセッサー：牛尾眞一郎氏

3回戦 東京23FC vs 南葛FC

R：光田智乙 AR1：蜂谷冬陽 AR2：大戸魁 4th：板谷恭平

アセッサー：平石暁史氏

準決勝 VONDS市原FC vs ヴェロスクロノス都農

R：大戸魁 AR1：堀江晃生 AR2：蜂谷冬陽 4th：多喜功

アセッサー：見付和昭氏

フィードバック

2回戦

ゲーム立ち上がりのファウルをシンプルにとったことでこのゲームの判定基準を確立できた。その後も基準は一定していた。

それに伴う動き出し、判定時の角度、距離が良かった。

些細だが相手が嫌がるファウルに対して、コミュニケーションを取り、抑止していた。マネジメントではなくコミュニケーションにすることでゲームの展開を止めることなく良いゲームコントロールにつながった。

課題点としてはアドバンテージの精度

その後の状況も見て本当に効果的かどうか見極める。

準決勝

市原の15番が都農ベンチ前で3回ファウルを繰り返したシーンで
3回目で明確に注意した事でその後ファウルがなかった。

レフェリーのメッセージが伝わった。

ファウルの笛が半腹遅いことがあるから、タイミングと判断を早くする。今後
上に行くとそれが選手のストレスの引き金になる事がある。



まとめ

まずは4年連続この大会に派遣いただき感謝申し上げます。

今大会JFLプール候補の審査で12名来られており、色々色んな思いを持って臨んでいると感じました。その中で、自分もこの1年間の活動の集大成として参加し、準決勝を担当でききたことは大変嬉しく思います。

各試合のフィードバックも非常にポジティブなものが多々、これまでの積み重ねを試合で発揮でき、評価をしていただけたと思っております。

この大会で新たに知り合った審判仲間との繋がりを大事にして、今後の活動も楽しみたいと思います。

これまで各研修会に参加させていただき様々な活動をさせていただきました。これから地域に還元して中国地域のレベルアップに微力ながら貢献していくらと思っております。

最後になりますが、大会に送り出していただいた中国協会の皆様、また、大会期間中試合に集中できる環境を作っていただいた青森県協会の皆様には感謝いたします。

ありがとうございました。

